

意見募集意見整理

注：項目の右の（ ）数字は件数

参考：意見提出人数 51人（北海道46人 東京都2人 千葉県、富山県、愛知県各1人）

意見件数 121件

[北海道総合開発計画の在り方等について](4)

- ・ 計画立案にNPOなどの民間機関を始めとする多くの機関を参画させ、実践的な計画とすべき。その際、当事者間の共通理解を深め共通の目的意識を持つことが必要。
(千葉県団体職員、同旨雨竜町団体職員)
- ・ 北海道の地域産業、経済の不振が解決されなければ、我が国発展のための開発計画は生かされない。ただ単に課題、課題を解決する新しい方向、施策だけが積み重なるだけである。(剣淵町、同旨愛知県会社員)

[重点課題の推進方策について](114)

【食料基地としての役割の強化】(13)

(農山漁村における循環型社会の先駆的構築)

- ・ 雇用の確保及び食料自給率向上のため、安全性の高い無農薬野菜の生産を推進すべき。(稚内市農業者)
- ・ 産地や生産者の顔が見える農産物流通システムの構築が必要。(北広島市、同旨湧別町会社員)

(生産から消費に至る総合的なフードシステムの確立)

- ・ 恵まれた自然環境、最新の技術・情報、経営力・頭脳を融合させ、競争力のある優れた農産物の生産・出荷、産品を使った加工食品の製造、産品を生かした料理・もてなしを組み合わせたトータルな食品産業を展開していくべき。(千葉県団体職員、同旨沼田町)
- ・ 北海道米の消費拡大のため、米の用途拡大につながる微細粉加工施設を設置すべき。
(札幌市団体職員)

(北海道型田園コミュニティの創造)

- ・ 食料基地としての役割を強化するため農業・農山漁村の振興を図ってほしい。そのことが景観や魅力を高めることにつながり、観光振興にも貢献する。(雨竜町、同旨雨竜町団体職員)

(先駆的・実験的取組)

- ・ 北海道で蓄積された先駆的な生産技術等を近隣諸国での食料開発に生かせるよう、産学官が協働して取り組むべき。(千葉県団体職員、同旨湧別町会社員)
- ・ 農業、漁業を核に世界に通用する生産性のあるビジネスの創生を目指すべき。(東京都会社員)
- ・ クリーンなイメージを持ったブランド農産物の生産・提供、農村景観を生かした広

域的体験型観光の推進が必要。(深川市)

(その他)

- ・ 将来的な貿易収支の悪化に備える意味からも、北海道の食料供給基地としての役割の強化を図るべき。(富山県会社員)

【新たな産業育成】(15)

(新エネルギー)

- ・ 雪冷熱エネルギーの更なる活用方策について検討すべき。(沼田町)
- ・ トラス構造の風力発電施設整備などの環境産業の振興により、北海道の継続的な発展のための産業基盤を確立すべき。(湧別町会社員、同旨北広島市会社員)

(IT産業及びIT社会)

- ・ 国の光ファイバー開放に関する規制緩和を推進するとともに、高速無線ネットワークの構築を推進すべき。(美幌町団体職員)

(バイオ産業)

- ・ 廃棄物等のバイオマス資源化を図るため、バイオテクノロジー研究を支援すべき。(湧別町会社員、同旨札幌市会社員)

(先駆的・実験的取組)

- ・ 風力などを活用し国家的規模の自然エネルギー基地の設置を目指してはどうか。(東京都会社員、同旨富山県会社員)
- ・ 北大の遺伝子研究を生かした新産業創出を図るべき。(深川市)
- ・ 北海道の気候を生かし、低温を必要とする超伝導技術の研究を推進すべき。(湧別町会社員)

(その他)

- ・ リサイクル産業を、北海道の我が国発展への貢献のための戦略的産業と位置付けるべき。(湧別町会社員、同旨札幌市会社員)
- ・ 雇用を創出するため、新たな産業を早急に育成する具体的な提案と支援策が必要。(北広島市)
- ・ 北海道型高気密・高断熱住宅の他都府県への事業展開が必要。(湧別町会社員)
- ・ 中小企業の人材育成支援及び起業家育成のための教育を推進すべき。(札幌市会社員)

【環境保全】(11)

(自然との共生)

- ・ 北海道の魅力は広大な土地、四季を彩る自然であり、これからの開発は必要最小限に抑え自然環境の保持、復元に努めるべき。(北広島市、同旨剣淵町、東京都会社員、愛知県会社員)
- ・ ボランティア・NPOと連携し、河川に豊かな自然環境を取り戻し、趣味と体験学習の場として整備すべき。(雨竜町団体職員)

(地球環境保全に貢献する循環型社会の形成)

- ・ 森林資源の保全是日本のみならず世界の温暖化対策にも寄与することから、古くて新しい公共事業として整備の促進を図るべき。そのことが雇用の創出にもつながる。(芦別市、同旨北広島市、北海道建設業協会、湧別町会社員)

- ・ 風力発電を始めとするクリーンエネルギーへの取組を促進すべき。(富山県会社員、同旨札幌市会社員)

(先駆的・実験的取組)

- ・ 環境に配慮した各種工事施工等に係る国際的に見ても最先端の研究を行う施設を設置すべき。(北海道建設業協会)

【観光交流の促進】(8)

(北海道の「ブランド力」を生かす新しい観光の実現)

- ・ 大雪山系など雄大な自然景観、気候風土、山海の食べ物、文化や人間性といったものを「北海道ブランド」として確立し、活用すべき。(秩父別町、同旨北広島市)
- ・ 北海道の自然や各地域の文化をインターネット等により各地に発信すべき。(北広島市、同旨湧別町会社員)
- ・ 都市住民や高齢者を対象とした、温泉、自然環境を生かしたリラクゼーション、いやし、健康づくりを推進すべき。(千葉県団体職員)

(地域の魅力・価値の効果的発現)

- ・ 各地域の観光資源を発掘し、長期滞在型観光の定着を目指すべき。(湧別町会社員)
- ・ 海外からの観光客をターゲットにした観光開発の推進が必要。(札幌市会社員)

(先駆的・実験的取組)

- ・ 交通渋滞解消、交通事故防止及び観光振興のため、ITSを積極的に展開すべき。(札幌市会社員、同旨札幌市団体職員)

【国際交流と人材開発の拠点づくり】(5)

- ・ アジアの若者に「北海道で学ぼう」と思わせる大学づくり(学部、教授陣、校舎の風格等)を進めてはどうか。(富山県会社員)
- ・ 国際的な芸術家が集う環境づくりを推進すべき。(湧別町会社員)
- ・ EUを見本として、ロシア極東を含む北東アジア諸国との日本海を囲む一体の地域形成に係るビジョンを持つべき。併せてサハリンプロジェクトも推進すべき。(富山県会社員)
- ・ 自然環境を生かし、子どもを対象とした野外学習、スポーツ等の振興を図るべき。(千葉県団体職員)
- ・ 野外活動・環境学習の指導者の育成機関を創設し、固有の資格を付与すべき。(千葉県団体職員)

【安全でゆとりある快適な地域社会の形成】(12)

(安全な国土づくり)

- ・ 財産や生命の保護のほか、貴重な農産物を守るためにも治水事業が必要。事業の推進に当たっては、そうした本来の目的をわかりやすく表明すべき。(幌加内町、同旨湧別町会社員)
- ・ 北海道の自然を期待する観光客に過剰な防災施設を見せないよう、火山対策等の防災工事は最小限にとどめるべき。危険地帯からは移住すべきであり、過度な防災対策を講ずるべきではない。仮にそうした地域に住むのであれば、リスクを受け入れるべき。(雨竜町団体職員)

(ゆとりある地域社会の形成)

- ・ 歩行空間における冬期バリアフリーを含む交通バリアフリー施策を、高齢化の進む地方において展開すべき。(砂川市)
- ・ 広大な土地、恵まれた環境を生かし、都会にはない、北海道の地方だけにある特性を生かした独特の生活スタイルを築きあげることを目指すべき。(深川市)
- ・ 中核都市の医療施設まで 60 分以内にたどり着けるインフラ整備が必要。(湧別町会社員)

(先駆的・実験的取組)

- ・ 高齢化対応について、健康づくり、介護、雇用、住宅、道路、乗り物に対する「やさしさ」をキーワードにした独自の取組が展開できるのではないかと。例えば、やさしさエコマネーの導入、地域におけるヘルパー的な役割を果たす人材配置といったことが考えられる。(栗山町)
- ・ 「絵になる都市づくり」「絵になる村づくり」のための制度、事業を組み合わせた取組を展開すべき。(富山県会社員)
- ・ 我が国の歌をリードする歌手の出身をみると北海道と沖縄県の比率が高い。北海道の新しい文化を把握してみてもどうか。(富山県会社員)
- ・ 札幌圏の都市機能と周辺の田園機能を生かし、今後高齢化を迎える団塊の世代が新たに暮らすモデル地域とすべき。(千葉県団体職員)

(その他)

- ・ 札幌市中心に考えるのではなく、旭川市、函館市、釧路市などの中核都市を中心に周辺市町村が一体となって、その地域の生活経済圏を創設し、自立を図るためのインフラ整備が必要。(芦別市)
- ・ 飲料水確保のため、水田の転作による余剰水利を飲料水に振り替えてほしい。(幌加内町)

【人流・物流・情報流の基幹的ネットワークの推進】(47)

- ・ 地域経済の自立や地域間交流の活性化を図る上で、高規格幹線道路の早期全線完成が課題。(道商工会議所、同旨道経連、仁木町、島牧村、倶知安町、蘭越町、寿都町、神恵内村、共和町、ニセコ町、黒松内町、北海道建設業協会、札幌市団体職員)
- ・ 整備新幹線は、環境保全(航空機と比較して省エネルギー)、観光交流の促進にも貢献することを意識し早期整備を図るべき。(積丹町、同旨京極町、道経連、道商工会議所、JR北海道、島牧村、仁木町、倶知安町、蘭越町、寿都町、共和町、函館市、ニセコ町、黒松内町、北海道市長会、北海道建設業協会、札幌市団体職員、富山県会社員)
- ・ 峠の安全確保を始めとする来道者の安全な移動可能性を確保するため、幹線道路網の整備を推進すべき。(北広島市)
- ・ 人流・物流・情報流のネットワークが、食料基地としての役割の強化、新たな産業育成、観光交流の促進、安全でゆとりある快適な地域社会の形成にどう関連するのか見えてこない。(小樽市)
- ・ 高速道路を始めとする公共事業の目的が明らかになっていない。(東京都会社員)

- ・ 苫小牧港、新千歳空港などの基幹的インフラは、「百年の大計」に沿って整備すべき。完成すれば必ず長期にわたって地域の経済社会を支えることが期待される。(富山県会社員、同旨湧別町会社員、札幌市団体職員、北海道建設業協会)
- ・ 経済効果を考えると、高速道路インフラは国費の投入により無料化すべき。一方、維持管理コストの増加が予想されるため、人口を都市や農村の中心に集中させ面的整備の負担を軽くすべき。(富山県会社員、同旨湧別町会社員)
- ・ 大消費地関東圏、関西圏の人たちが、日本の食料基地北海道からの食料供給を北海道の高速道路が支えているということを理解すれば、自分たちの首を絞めるようなことを言わなくなるのではないか。(幌加内町、同旨湧別町会社員)
- ・ 一カ所の観光ではなく、広域的な観光、体験型観光のために道路ネットワークが必要だと主張すれば理解が得やすいのではないか。(深川市、同旨芦別市)
- ・ 農産物等に関する流通の低コスト化を図るためにも基盤整備は必要。(小樽市、同旨芦別市)
- ・ 全道的な自転車道路網の飛躍的な整備促進が必要。(北海道建設業協会)

【人口減少が予想される中での地域の活力維持】(1)

- ・ 人口減少に対しては、観光を始めとする交流人口を増やすべき。(北広島市)

【公共事業の効率的・効果的推進】(2)

- ・ 公共事業の推進に当たっては、事業効果を優先し、重点化を図るべき。(北広島市)
- ・ ハード施策とソフト施策の連携が必要。(沼田町)

[その他](3)

- ・ 「道外者の目と期待度」を意識するのもよいが、道民のための北海道産業、経済をどうするか、地域の現状を的確に捉え対策・施策をどう講ずるのかといった点についても検討が必要。(剣淵町)
- ・ 拓銀、エアドゥは悪い意味での先駆的実験だったのではないか。(愛知県会社員)
- ・ 北海道を総体的に漠然と捉えるのではなく、個々の地域、人、企業等に焦点を当てるべき。(千葉県団体職員)